

実質収支とは

収支の均衡を見る項目で財政運営の良否を判断する重要なポイントです。しかし、単に黒字が多いほど良いといえるものではなく、一般的には、標準財政規模の3%~5%程度が望ましいとされています。

令和4年度の標準財政規模は 10,282,608千円で、5.3%程度となっております。

【参考】実質収支 = (歳入決算額-歳出決算額) - 事業が翌年度にまだがるものに必要な翌年度に繰り越すべき財源

1. 歳入・歳出総額

(普通会計)

(千円)

項目	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
歳入	14,187,450	14,771,465	19,486,265	17,450,892	17,057,863
歳出	13,368,378	13,982,872	18,718,268	16,546,104	16,359,658
差し引き	819,072	788,593	767,997	904,788	698,205
翌年度への繰越	78,364	123,708	29,553	67,244	155,278
実質収支	740,708	664,885	738,444	837,544	542,927

